

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市新田児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 54,934人 (前年度比 113.0%)          平成28年度 48,596人          平成27年度 48,113人          平成26年度 44,691人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 53,288千円 (46,461千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 (0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート、地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、緊急時の連絡等については、児童クラブの保護者に「緊急時対応カード」の携行を依頼するなど、発災時の体制が整えられている。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。特に、似顔絵による職員紹介やパネル化した目指す児童館像や行事写真の掲示は分かりやすい情報となっているほか、リーフレットとホームページのリニューアルも行っている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、児童クラブ通信の発行や日々のやり取りを通して保護者に遊びや生活の様子を伝えるとともに、懇談会や夕方カフェで保護者の声を聞く場も設け、保護者との連携に努めている。毎日の帰りの会の進行は子どもたちが担い、縦割りグループでのゲームや読み聞かせ等を行うほか、子ども会議では、生活のルールを決める活動を行うなど、子どもたちが社会参画する力を育む取組みが行われている。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧が混在する住宅地である新田は、子育て世帯が多く児童館利用が年々増している。H29年度は54,934名の利用で昨年より6,338名多く、特に乳幼児親子の利用が高い状況にある。</li> <li>・4箇所のサテライト室は、全職員による楽しい遊び方の工夫を心掛けており、また、地域の方の理解や協力を頂いたこともあって、スムーズな運営を行うことができた。</li> <li>・小学校との情報交換は児童館側からの声掛けと、学校側からの相談や訪問で常に「顔が見える関係」を保っている。また、児童館まつりには毎年小学校のブラスバンドの出演や教員によるオープニングなど固定化された参加が出来てきた。</li> <li>・高学年生による「でんでんタイム」企画は、参画する面白さが浸透してきたように思われる。実践してきた体験から、企画立案や実施までの活動が充実しているのか、毎回参加者が多く活発な活動が見られ意欲が増してきた。</li> <li>・児童クラブ登録児童を対象とした自然遊びの体験「そあとの庭」は、6回に分け土曜日に実施し、196名が参加した。自然体験の必要性は、生き方を学ぶ大切な体験学習と感じた。ふだん見たことのない表情や満足げな姿があり、企画の素晴らしさは保護者から好評を得た。</li> <li>・最大のイベントである児童館まつりの来館者は1,080名で、小学生から大人によるボランティアは130名となった。また、世代交流が出来た切絵では、小学生と地域の方、地域の方と乳幼児親子の交流があり、和やかな雰囲気が見られた。</li> <li>・3年目になった「NOKISITAねっと」は、19団体の参加となり情報や意見交換で盛り上がった。</li> <li>・全職員は、毎日さりげない声掛けと笑顔で来館者を迎え、気軽に集える居場所づくりに努力してきた。アンケートからも職員の接遇に対し良い評価を頂いた。</li> </ul>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>一昨年度から始まった地域子育て支援ネットワークは児童館を活動の拠点としており、地域サークル、幼稚園、保育所、市民センター等、関係団体がつながりを深める場となっている。子育て支援クラブ等と連携しながら、母親たちのリフレッシュの場となる「新田さろん」、父親がつながる「パパ・グランパ」、子育て講演会、子育てセミナー等を実施し、子どもを持つ親に寄り添った子育て家庭支援に取り組んでいる。</p> <p>登録児童の増加を踏まえた、安全で円滑な児童クラブ運営のため、職員は毎日の「午後ミーティング」で情報共有を行い、利用している子どもたちが楽しく過ごすことができるよう本館及びサテライト運営に取り組んでいる。また、館外でのワークショップ、児童館でのお泊り会、芋煮会・クリスマス会等の季節に応じた行事、他館との交流行事等、小学生を中心に様々な世代が児童館に集う行事を通して、社会性や自立心を育てる取り組みを行っており、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室